

ボート競技への取組みについて

水川 淳 議員



【問】町内のボート競技人口の推移は。（町民レガッタの参加者の推移）

【教育部長】平成7年（第1回）は67クルー、平成14年の118クルーをピークに減少し、今年は65クルーになった。

【問】中学のボート部がクラブへ移行し2年目になる。参加状況は。

【教育部長】21年度は61名。今年度は47名。部活動として参加した3年生が卒業後、1年生の加入が多くなかった。

【問】小学生の取組は。

【教育部長】毎年ボート教室を開催しており、昨年は39名が参加した。

【問】町内の競技者のレベルは。

【教育部長】7月に開催された全国中学校ボート選手権では男子シングルで優勝した。全体的に健闘していると感じている。

【問】今後のビジョンは。

【教育部長】指導者確保が一番の課題。ボート部



8月に催される町民レガッタ、スタート風景

OBなどが初心者者の指導にあたり、クラブが発展していく形が理想。

【問】ボート関連事業を、ボートを熟知し情熱を傾け取組むボート協会へ包括的に委託する考えは。

【教育部長】普及に関して包括的に協会に委ねるということは検討したことがない。可能かどうか検討する必要があると思う。

【問】ボートハウスの協会への管理委託は。

【教育部長】いずれはという思いはある。協会が良いか、施設サービスが良いかということも含め検討することは可能。

介護保険会計は2億円も溜込んでいる。 保険料を下げよ

中川 雅夫 議員



【問】平成21年度介護保険特別会計の決算状況は。

【福祉部長】計画と実績の差が1億8952万円。要介護認定者が見込みより1割も少なかったためである。元気な高齢者が増えたと認識している。

【問】介護保険の資金が4年間で2億円も増えた。介護保険料を下げよ。

【福祉部長】第5期の保険料で検討する。

【問】居宅サービス重視といえながら実績が伸びていない。対策は。

【福祉部長】医療・介護・見守りなど地域ケアサービスを推進する。

【問】介護保険の在宅利用料を引下げてはどうか。

【福祉部長】そのようなことは考えていない。

【問】保険料滞納が多い。滞納者はサービスが利用できるもので事実上の切捨てだ。減免制度の整備が必要ではないか。

【福祉部長】保険料の決定



農作業は若さの源

では低所得者に配慮している。滞納者の状況を調べて対応を検討したい。

【子ども医療費無料化】

【問】小6までと中3までとで無料化費用の差は1800万円。100億円の予算を預かる町長の見解を。

【町長】予算100億円と言うが、新規事業にまわせる投資的経費は1億2000万円に過ぎない。1800万円の比率は大きい。

【問】中3までの無料化はあきらめるのか。

【町長】総合的検討には入れるべき施策だ。当面はできることから、来年度は小6まで無料化する。